

平成29年度美術常設展〈3〉

追悼

# 大森運夫展

2017年

9月26日|火|-12月17日|日|

豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
1階美術常設展示室

開館時間●午前9時～午後5時 休館日●月曜日

入場無料

ギャラリートーク

10月7日(土)・11月12日(日) 各午後2時～  
●無料●申込不要、当日会場へ

《地鳴り》1971年

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

平成29年度美術常設展〈4〉

没後40年

# 中村正義展

2017年

2018年

12月26日|火|-3月18日|日|

豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
1階美術常設展示室

開館時間●午前9時～午後5時

休館日●月曜日、12月29日(金)～2018年1月3日(水)

入場無料

ギャラリートーク

2018年2月3日(土) 午後2時～

●無料●申込不要、当日会場へ

ドキュメンタリー映画『父をめぐる旅』上映会

2018年1月28日(日) 第5展示室

●定員40名●無料●予約不要、当日会場へ

《花見》1969年



追悼

# 大森運夫展

2017年

9月26日|火|-12月17日|日|

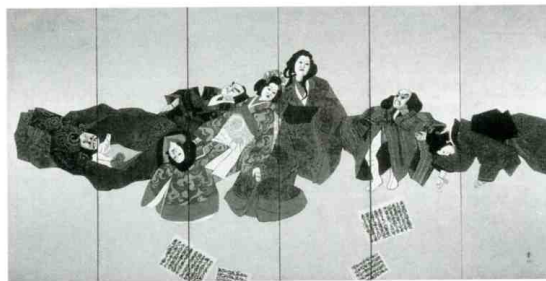
本展は昨年9月29日に99歳で逝去された郷土を代表する画家・大森運夫の没後1周年を記念して開催する追悼展です。

大森は、はじめ教員を勤めますが、30歳を越えてから中村正義の影響で日本画家を始めました。日展や新制作協会(現在の創画会)に出品するほか、神奈川県展や山種美術館大賞展で最高賞を受賞し、画壇での地位を築きます。その画風は労働者を描いた暗いものから、「おぼこ」や浄瑠璃人形を描いた清々しいものまで多種に渡りますが、一貫して人間の生命力を描き続けました。

当館では郷土を代表する作家として、素描を含めると80点を超える作品を所蔵していますが、今回その中から約20点の作品を厳選してご紹介します。



《信濃》1960年



《残照》1995年



《あしたを見つめて》1998年



《神祕の粉挽き》2004年

## ■大森運夫 略歴

- 1917年 愛知県豊川市に生まれる
- 1951年 第15回新制作展 初入選
- 1952年 中村正義、星野真吾、平川敏夫、高畑郁子らと絵画塾・中日美術教室を開設
- 1962年 第26回新制作展(現創画会)新作家賞受賞 \*66,67,70年も受賞。71年会員推挙
- 1966年 第1回神奈川県展大賞受賞
- 1969年 『ロマネスクの祭壇』文化庁買上
- 1975年 第3回山種美術館大賞展 大賞受賞
- 1985年 第1回地の会展出品 (資生堂ギャラリー、東京)\*第12回まで近代日本画を俯瞰するI-現代日本画巨匠展(茨城県立近代美術館)
- 1992年 大森運夫展(豊橋市美術博物館)
- 1994年 日本画家五人展(桜ヶ丘ミュージアム)
- 1996年 『大森運夫画集』(求龍堂)刊行 大森運夫素描展(桜ヶ丘ミュージアム)
- 1997年 大森運夫展(桜ヶ丘ミュージアム)
- 1998年 日本画戦後の歩みII展 (いわき市立美術館、福島県)
- 2010年 受贈記念 大森運夫展(桜ヶ丘ミュージアム)
- 2016年 百寿記念 大森運夫展(ほの国百貨店、豊橋) 9月29日逝去、享年99歳

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

没後40年

# 中村正義展

2017年

2018年

12月26日|火|-3月18日|日|

大正13年、豊橋市に生まれた中村は、史上最年少の36歳という若さで日展審査員となりますが、翌年画壇の因習と対立し審査員を辞退、在野で日本画の革新を目指しました。当時製品化されたばかりの蛍光色の絵具を使用した奇抜なものや、独自に盛上げ用接着剤を開発するなど、斬新な発想で日本美術界に衝撃を与え続けますが、癌を患い52歳で亡くなりました。

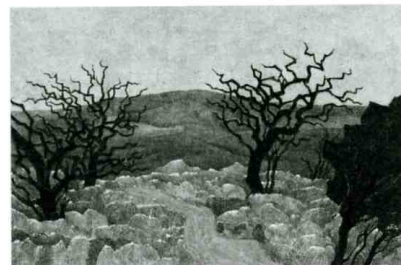
本展は郷土を代表する画家・中村正義氏の没後40年を記念し、当館コレクションでその画業を回顧するものです。画壇を席卷した中村正義の魅力を改めて感じていただければ幸いです。

## ■中村正義 略歴

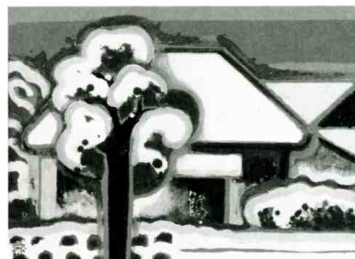
- 1924年 愛知県豊橋市に生まれる
- 1946年 中村丘陵に師事し、蒼野社に入門
- 1950年 第6回日展で特選受賞 \*52年特選(朝倉賞、白寿賞)、60年審査員
- 1952年 星野真吾・平川敏夫・大森運夫・高畑郁子らと絵画塾・中日美術教室を開設
- 1960年 第13回中日文化賞受賞
- 1961年 岳陵塾・蒼野社を退き日展も脱退。神奈川県川崎市へ転居
- 1963年 個展-男女(松坂屋、東京上野、他)
- 1974年 山下菊二・佐熊柱一郎・星野真吾・大島哲以・田島征三・斎藤真一とともに从会を結成
- 1976年 個展(横浜市民ギャラリー、神奈川)
- 1977年 4月16日逝去、享年52歳
- 1980年 個展(豊橋市美術博物館)\*97年も
- 1983年 個展(神奈川県立近代美術館)
- 1988年 神奈川県川崎市の自宅が中村正義の美術館として開館
- 2011年 日本画壇の風雲児 中村正義展 新たな全貌(名古屋美術館、練馬区立美術館)
- 2012年 郷土作家 中村正義展(桜ヶ丘ミュージアム)



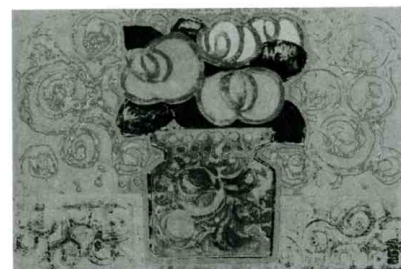
《顔》1955年



《叢》1957年



《家》1963年



《花》1963年



TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM  
豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2 TEL 0533-85-3775

交通案内/電車 JR飯田線「豊川」駅・名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分 車 ●東名高速道路「豊川IC」から約10分(無料駐車場約100台/公園と共有) ※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗合せにご協力ください。